

ヴァイオリン



ピアノ



落語



朗読



心のコンサート10周年記念公演

The Classics

～古典を愉しもう!～

ベートーヴェンとシェイクスピア、そして落語? はて、その心は??

L.van ベートーヴェン
ヴァイオリン・ソナタ 第8番ト長調 作品30の3

★

F.メンデルスゾーン/E.W.コルンゴールド/大三元
W.シェイクスピア『夏の夜の夢』より

★

落語一席

★

朗読:W.シェイクスピア『から騒ぎ』より

★

E.W.コルンゴールド
『から騒ぎ』作品11より
ヴァイオリンとピアノのための4つの小品

★

E.W.コルンゴールド
バレエ音楽『雪だるま』よりセレナーデ

出 演

大津 純子(ヴァイオリン) / 岡田 知子(ピアノ)
市毛 良枝(朗読) / 古今亭 志ん彌(落語)

2015.9.27 Sun 17:30開演

代官山ヒルサイドプラザにて ¥6,000(ワイン・オードブル付)

【主催】大津純子室内楽実行委員会

【協賛】株式会社ICMG、Do Good Associates

【協力】小田原「鈴廣」、甲府「ワインズ 新富屋」、NPOえこお、株式会社Dia-cubed

【特別協力・資料提供】中村伸子(音楽学・E.W.コルンゴールド研究)

■お申込・お問合せ

Tel&Fax▶03-3486-8740 大津純子室内楽実行委員会

Internet▶http://www.junko002.com/

※Faxご利用の場合は、裏面の申込書をお使いください。



古典派から出発し独自の作風を展開。ロマン派への先駆、そして生涯を通じ深い人間性を追求し続けたベートーヴェン。欧米人にとって英国の詩人・劇作家シェイクスピアの戯曲は生活に深く密着した〈基礎教養〉である。彼が描いた登場人物たちの織りなす不可思議な人間劇は、日本の古典芸能・落語に相通ずるところがあるかも？ 後期ロマン派巨匠作曲家マーラーは、コルンゴルド9歳の時の作品を聴き「天才だ!」と叫んだとか。11歳でバレエ音楽『雪だるま』を作曲。23歳にしてオペラ『死の都』で一躍国際的名声を博する。ハリウッド映画『夏の夜の夢』のためにメンデルスゾーンの同名劇音楽の編曲に携わり、『ロビンフッドの冒険』(1938)でアカデミー賞ベスト・オリジナル・スコアを受賞。ナチス・ドイツの迫害を避けて1938年ウィーンよりアメリカに亡命。

- 〈第一部〉＊L.van ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第8番 ト長調 作品30の3
- 〈第二部〉＊F.メンデルスゾーン/E.W.コルンゴルド/大三元：W.シェイクスピア『夏の夜の夢』より
＊落語一席
- 〈第三部〉＊朗読：W.シェイクスピア『から騒ぎ』より
＊E.W.コルンゴルド：
劇付随音楽『から騒ぎ』作品11よりヴァイオリンとピアノのための4つの小品
バレエ音楽『雪だるま』よりセレナーデ



大津 純子 (Ohtsu Junko)

Violin

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業。ジュリアード音楽院在学中にジュネス・ミュージカル・インターナショナル、及び、カーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。ニューヨーク・タイムズ紙上、音楽評論家レイモンド・エリックソン氏より、「卓越した演奏」「将来を大きく期待される音楽家」と高い評価を受け、以後、ニューヨークを拠点に、本格的な米国内外での演奏活動を開始。

セントルイス交響楽団、シモン・ボリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との共演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉は、パブリックTVネットワークにて全米30都市以上に放映、また米国各地でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。国際交流基金派遣にてロシア、チェコ、フィリピン、ベトナム、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。『ヴァイオリンの詩〜ベル・エポック』、スペイン音楽選集『マラゲーニャ』(各・日本フォンテック)、『Prelude to a Kiss』(BAJ Records)などCD5枚をリリース。『マラゲーニャ』収録曲のE.グラナドス：ヴァイオリン・ソナタは、「素晴らしい録音・・・」(音楽評論家・諸石幸生氏)と評価高い本邦初録音となる。また、アメリカ女流演奏家と構成する Ecco Trio (ピアノ・トリオ) によるアルバム『アメリカ』は、〈レコード芸術〉誌「室内楽準推薦盤」に選出された。2011年2月、東北民謡集DVD『あいの風〜Wind from Northeast』をプロデュース、リリース(この収益全額は東日本大震災復興のために寄付)。その意外な企画と、ヴァイオリンによる津軽・南部地方の民謡(編曲)演奏の新鮮なアプローチは称賛的となる。

2002年、自ら企画・プロデュースした室内楽シリーズ『Good Old Days 〜アメリカの〈素敵な時代〉』は、日本のクラシック音楽シーンの盲点であった「知られざるアメリカ」にスポットを当てた意欲的な好企画として各界より注目を浴びる。2004〜11年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤允彦両氏とともにジャンルを超えて音楽を楽しもう、という意図のもと、『Junko and the Night and the Music』シリーズを開催。3人の異なるバックグラウンドを生かしたユニークな企画は好評を博す。2005年12月より《大津純子・心のコンサート》を年2回展開中。

2012年、新シリーズ《純子の音楽ミニ・キャラバン》(小さなお子さん・学生さん対象に「音楽の楽しみ」を届ける出張演奏会)を開始。また、2000年より毎秋、国立情報学研究所主催による《軽井沢土曜懇話会》(情報工学における権威、故・猪瀬博氏開設)に招かれてレクチャー・コンサートを行っている。現在、コンサート・プロデュース、執筆、講演の分野にも活動の場を広げている。

古今亭志ん彌 (Kokontei Shinya)

Guest

1974年、古今亭円菊一門に入門、古今亭菊弥の名で前座修行。1979年、二つ目昇進。1988年に真打ち昇進、古今亭志ん彌の名をもらう。国立演芸場花形演芸会新人賞、国立演芸場花形演芸会銀賞受賞。

上野鈴本演芸場、浅草演芸ホール、新宿末広亭、池袋演芸場、国立演芸場など都内の寄席に常時出演。また、定期落語会として、「柳家 べ治・古今亭志ん彌ふたり会」(池袋演芸場)、「林家正雀・古今亭志ん彌ふたり会」(新宿末広亭)、「古今亭志ん彌落語全集」(上野鈴本演芸場)、「古今亭志ん彌の世界」(埼玉会館)を開催。他、全国各地の落語会にも出演多数。最近、豪華客船あすかIIに年一回乗船し、公演している。【出囃子：元禄花見踊り】

市毛 良枝 (Ichige Yoshie)

Guest

静岡県生まれ。文学座付属研究所・俳優小劇場の養成所を経て、1971年、テレビドラマ『冬の華』でデビュー。以後、映画、テレビ、舞台と幅広く活躍。

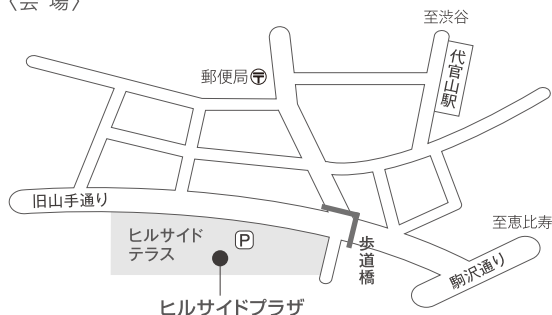
40歳から始めた登山が趣味であり、最近では登山の経験をいかした執筆活動や講演会も行う。登山をきっかけに環境問題にも関心を持ち、99年には環境省の環境カウンセラーに登録された。その他、非営利活動法人日本トレッキング協会の理事を務める。著書に『山なんて嫌いだった』(山と溪谷社)などがある。

岡田 知子 (Okada Tomoko)

Piano

東京芸術大学器楽科を卒業後、北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルトに留学。声楽の伴奏と器楽アンサンブルを学び、同校を首席で卒業。1977年1月、ベルリン・メンデルスゾーン・コンクール：ピアノ・トリオ部門第1位入賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール：ピアノ・トリオ部門第2位(1位空席)およびスイス特別賞受賞。現在、アンサンブル・ピアニストとして内外演奏家との共演、CD録音、コンサート・プロデュースなど、多方面に活発な活動を行っている。

〈会場〉



■コンサートお申込み書 (FAX送信先: 03-3486-8740)

お名前	ご連絡先
_____	_____
ご住所	

名